

エネチャレ2035で

# どう変わる?

## なみえのくらし



浪江町公式イメージアップキャラクター

うけどん

# エネチャレ2035 とは

町ではカーボンニュートラルと復興まちづくりを推進するため「浪江町地球温暖化対策総合計画～なみえエネルギーチャレンジ2035～」を策定しました。このガイド版(町民編)では、**浪江町地球温暖化対策総合計画を進めることで、実現したい将来の浪江町のくらしのイメージ**を町民の皆さまと分かち合うために、イラストを用い分かりやすく表現しました。

町民や事業者の皆さまにとって、より身近に、より親しみのある計画となるよう、**通称“エネチャレ2035”**とし、温暖化対策やエネルギー問題への様々なチャレンジを後押しするきっかけとなれば幸いです。1つ1つの小さなチャレンジが、やがて大きなムーヴメントになる。そんな姿を私たちの暮らす浪江から、全国や世界に示していきたいと思っています。

2030年  
浪江のくらしがこう変わる **01**

老若男女問わずエネルギーへの正しい理解が進み、デジタル技術等を用いて省エネルギーの頑張りなどが町民に還元されている



孫や息子に教わって頑張った省エネルギーと再生可能エネルギーで、ポイントをもらえました。省エネルギーって我慢ばかりだと思っていたけど、今の浪江では普段通りの生活をするだけで、**エコな暮らしができる**んですね。このポイントを使って今日はみんなでご飯を食べに行きます。

**解説**  
再生可能エネルギーが普及した浪江町では、スマートフォンやタブレット端末で電力状況が見える化されて、生活しているだけでエコポイントが貯まったり、自然とエコな生活ができる仕組みが広がっていきます。

**町民の皆様へ  
お願い**

- LED照明への交換、古くなった家電の省エネルギーモデルへの買い替え
- 太陽光パネルや蓄電池、エコキュートや水素燃料電池の積極的な導入
- 住宅の断熱性の向上
- ゼロエネルギーハウス(ZEH)への改修や新築時の検討
- エコポイント関連サービス(販)への積極的な参加と利用
- エネルギーデータの町への提供

——— 地球温暖化対策総合計画  
P44～45  
第4章「本町の目指す将来像と基本方針」2030年の  
将来像

——— 将来像が実現したときの  
町民のくらしのイメージ

——— この将来像を実現するために、  
町民の皆様のご協力が必要な  
こと

## 地球温暖化とは？何もしないとどうなるの？



出典：熱中症ゼロホームページ（一般社団法人 日本気象協会）

日本の平均気温は、100年あたり1.26℃の割合で上昇しています（世界の平均気温上昇は0.72℃）。豪雨災害や農作物の品質低下、熱中症の搬送者数の増加などがすでに起こっており、地球温暖化が今後も同じペースで進むことで、地球規模で深刻で取り返しのつかない影響が起これと言われています。

## 浪江町が目指す目標

2030年度

までに

本町から排出される温室効果ガス  
40千t-CO<sub>2</sub>に抑制 します。

カーボンニュートラルに向けた達成率  
50% を目指します。

※町内で使う全エネルギーの10%が再生可能エネルギーで賄われている状態  
(駅周辺の新しいまちのエリアはすべてが再生可能エネルギー)



2035年度

までに

カーボンニュートラルの達成率  
100% を目指します。

老若男女問わずエネルギーへの正しい理解が進み、デジタル技術等を用いて省エネルギーの頑張りなどが町民に還元されている。



孫や息子に教わって頑張った省エネルギーと再生可能エネルギーで、ポイントをもらえました。省エネルギーって我慢ばかりだと思っていたけど、今の浪江では普段通りの生活をするだけで、エコな暮らしができるんですね。このポイントを使って今日はみんなでご飯を食べに行きます。

### 解説

再生可能エネルギーが普及した浪江町では、スマートフォンやタブレット端末で電力状況が見える化されて、生活しているだけでエコポイントが貯まったり、自然とエコな生活ができる仕組みが広がっていきます。

### 町民の皆様への お願い



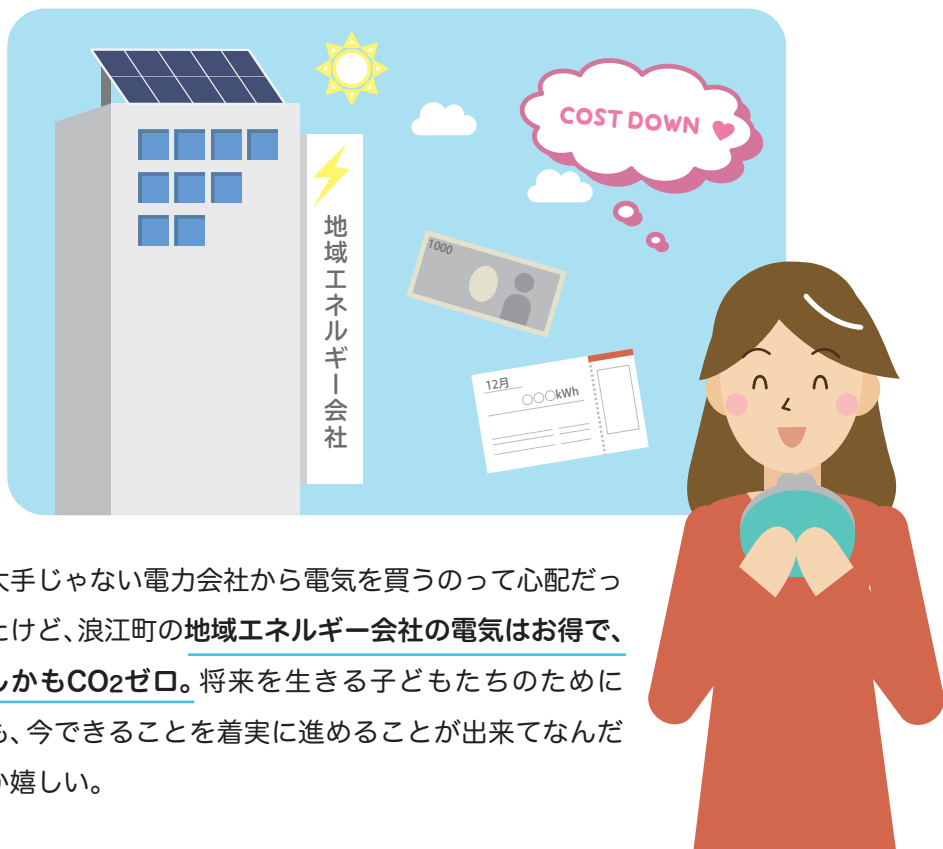
- LED照明への交換、古くなった家電の省エネルギーモデルへの買い替え
- 太陽光パネルや蓄電池、エコキュートや水素燃料電池の積極的な導入
- 住宅の断熱性の向上
- ゼロエネルギーハウス(ZEH)への改修や新築時の検討
- エコポイント関連サービス(仮)への積極的な参加と利用
- エネルギーデータの町への提供

2030年

浪江のくらしがこう変わる

02

地域エネルギー会社によるお得で環境に優しいエネルギーが利用できる。



大手じゃない電力会社から電気を買うのって心配だったけど、浪江町の地域エネルギー会社の電気はお得で、しかもCO<sub>2</sub>ゼロ。将来を生きる子どもたちのためにも、今できることを着実に進めることが出来てんだか嬉しい。

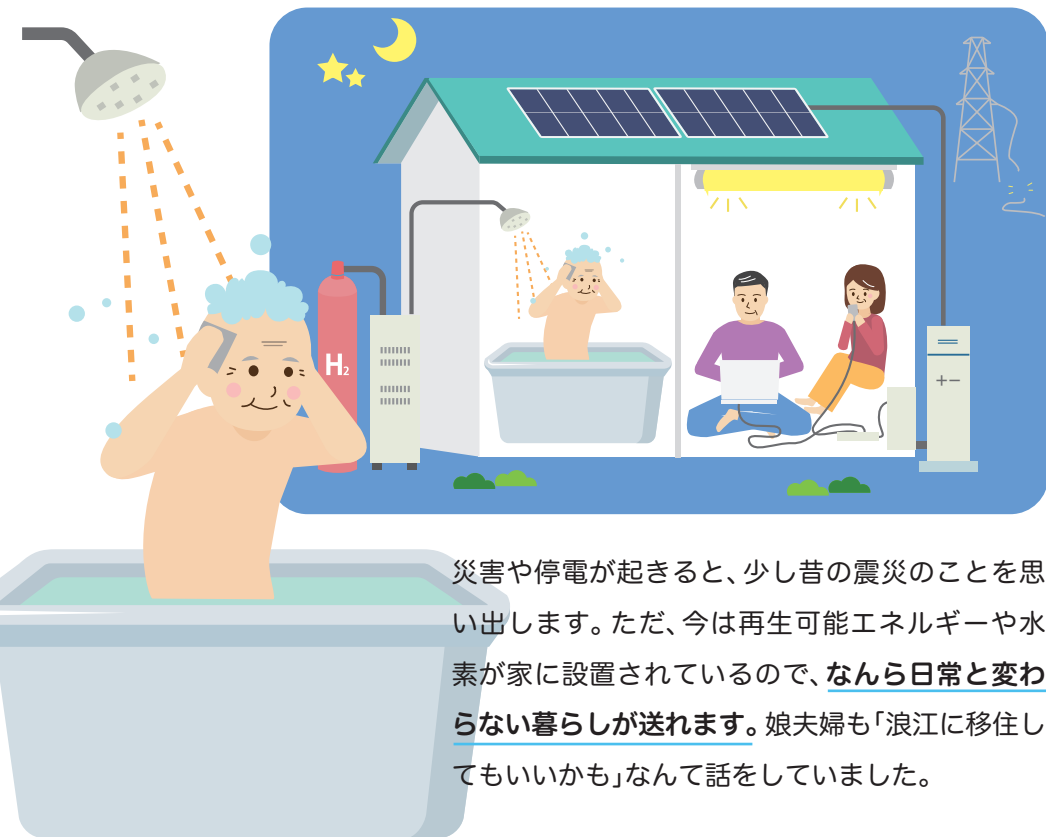
#### 解説

浪江町が参画する地域エネルギー会社は、CO<sub>2</sub>を出さない電気や熱をできる限り安価に町の皆さんへお届けする会社です。2024年度の設立・事業開始を予定しています。

#### 町民の皆様への お願い



- 地域エネルギー会社との電力契約
- 自宅への太陽光パネル設置時に、地域エネルギー会社への相談をする



災害や停電が起きると、少し昔の震災のことを思い出します。ただ、今は再生可能エネルギーや水素が家に設置されているので、なんら日常と変わらない暮らしが送れます。娘夫婦も「浪江に移住してもいいかも」なんて話をしていました。

### 解説

浪江町では、自らが使うエネルギーを自らが生み出す、「地産地消」を進めていきます。ご家庭でも、太陽光パネルや蓄電池、水素の燃料電池などの設置が進み、緊急の際も安全・安心な暮らしを目指します。

### 町民の皆様への お願い



- 太陽光パネルや蓄電池、エコキュートや水素燃料電池の積極的な導入
- モデルケースとしての情報提供  
(⇒情報発信媒体などへの匿名での掲載)



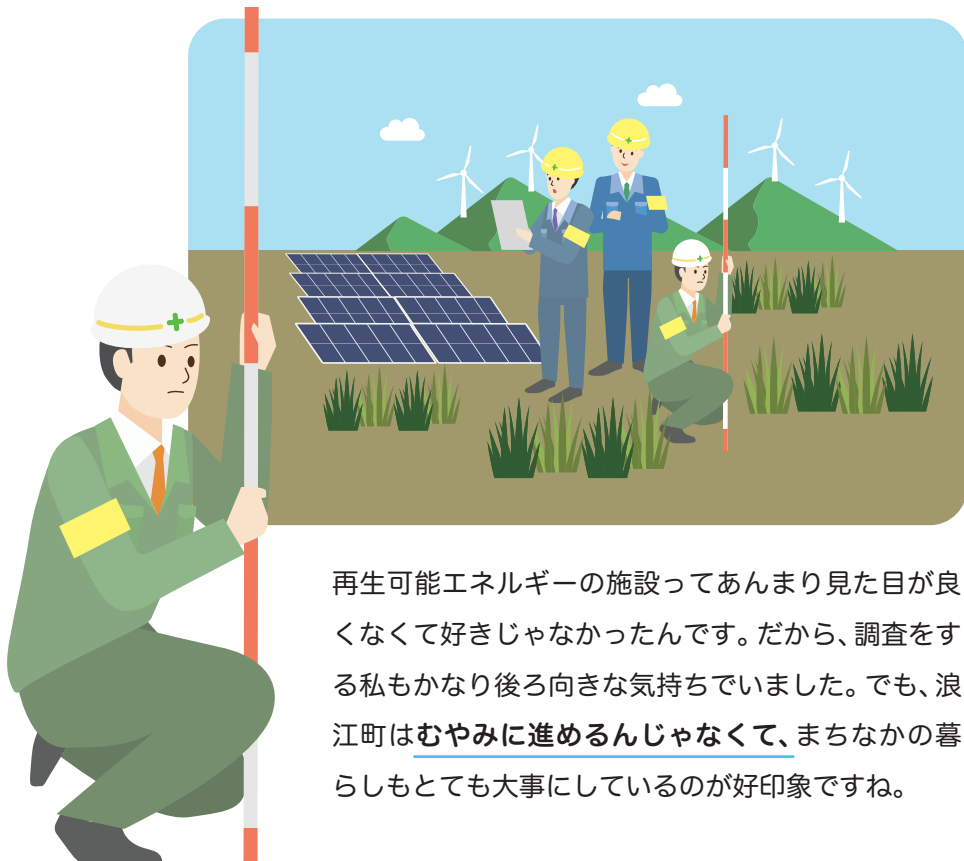
父の家に帰省した時に大規模停電があったのですが、自宅でエネルギーがまかなえるだけでなく、町や地域のエネルギー会社の人たちが、緊急対応で水素や電気を配給してくれることに驚きました。給水車は全国でもよく見ますが、「給電車」や「給水素車」は初めてです。自分たちの暮らしを自分たちが守ることって素晴らしいと感じました。

## 解説

災害や停電が長期化した場合は、町や地域エネルギー会社、その他にも連携を取っている事業者の皆さんと協働して、電気や水素の配給を暫定的に行える体制をつくります。

町民の皆様への  
お願い

- 地域エネルギー会社との電力契約(再掲)、水素供給契約
- ご自宅の電気や水素の設備に関する基本的な知識の習得・理解
- 災害時や停電時の働き手としての協力



再生可能エネルギーの施設ってあんまり見た目が良  
くなくて好きじゃなかったんです。だから、調査をす  
る私もかなり後ろ向きな気持ちでいました。でも、浪  
江町はむやみに進めるんじゃなくて、まちなかの暮  
らしもとても大事にしているのが好印象ですね。

## 解説

再生可能エネルギー発電所を整備する際は、周辺の暮らしや自然も大切にしながら、  
むやみやたらな開発が行われないように町と町民で協力をしていきます。

町民の皆様への  
お願い

- 太陽光発電事業者へ所有地を貸与する際の届け出への協力
- 町が行う再生可能エネルギーに関する立地検討への協力・意見出し



2030年

浪江のくらしがこう変わる

06

先進的な技術が集まることで、**来訪人口が増加**  
**観光業等が再興**して、町の知名度も向上する。



今日はお母さんとお買い物。僕の住む町は、再生可能エネルギーや水素というものを、生活でたくさん使っていて、日本や海外の人から注目されているんだって。  
たくさんの方が来るようになって、いろんなお店が増えました。昔から住んでいるおじいちゃんも嬉しそう。

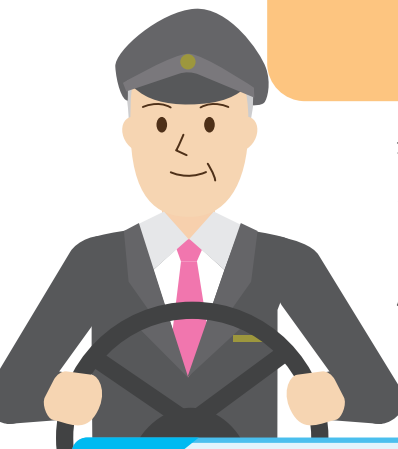
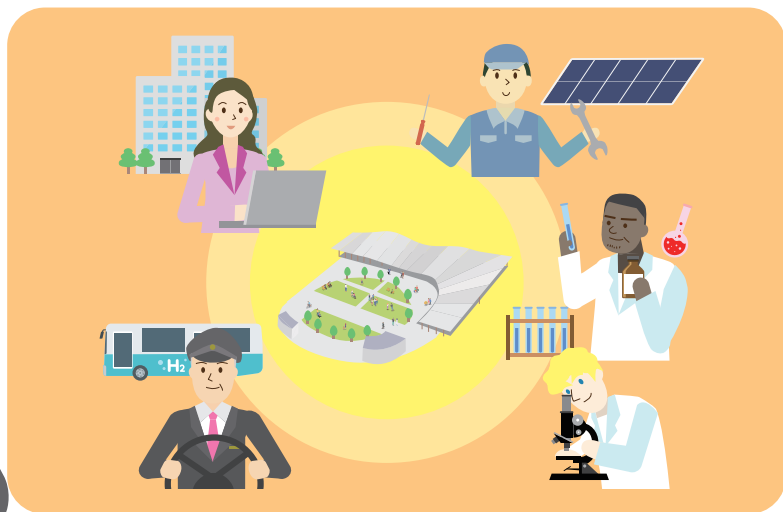
#### 解説

再生可能エネルギーや水素の取り組み、技術開発が町全体に進み、カーボンニュートラルが現実味を帯びることで、多くの来訪者がやってきて、商観観光業が活性化し、賑わいにつながります。



現在、町内には日本を代表するような企業が再生可能エネルギーや水素の事業に取り組んでおり、新しい技術・事業開発にチャレンジする企業も続々と集まっています。これらの動きを浪江町としても支援するため、各企業との協定締結や国際会議での発信などを行い、浪江の存在感を国内外にPRしています。

この成果もあって、様々な企業・自治体・団体の方から問合せや視察依頼をいただいております、たくさんの方にお越しいただいております。



長年バスの運転手をしてきたけど、水素で走るバスなんて初めてだ。浪江町の水素は全部CO<sub>2</sub>を出さない「グリーン水素」っていうらしいんだ。新しくなった駅周辺は、世界的な研究拠点も出来て、最先端の技術がこの町に集まるらしい。僕の仕事もそうだけど、他のまちでは経験出来ないことがたくさんあるね。

#### 解説

世界的な建築家、隈研吾氏監修による新たな駅周辺エリアには、暮らしに必要な商業施設、移動手段、働く場所が集まり、カーボンニュートラルを共通のキーワードに町のシンボルになっています。

#### 町民の皆様への お願い



- たくさん集まってくる新しい技術や情報について、**みずから触れて楽しむ**、理解を深める
- 町内にある**様々な仕事の機会を大切**にし、技術を身に付ける
- 出身や国籍など多様な人材とコミュニケーションを図り、**お互いの理解を深める**
- **公共交通機関**を積極的に利用する



仕事の関係で、浪江町に夫と移住してきました。

水素って怖い印象があったのですが、実はプロパンガスと同じかそれ以上に安全と知り、安心して使っています。暖房も灯油ではなく水素、バーベキューでも水素コンロを使っています。仙台に住む義両親が、自宅にも欲しいと羨ましがっていました。

### 解説

各ご家庭に水素がエネルギーのインフラとして成り立つような仕組みや環境を整備していきます。水素が使われることによる町民の皆さんへの利便性や、安全性に関する情報発信も進めます。

### 町民の皆様への お願い



- 太陽光パネルや蓄電池、エコキュートや水素燃料電池の積極的な導入
- 水素を日常的に使うことの安全性や便利さを理解する
- 水素の様々な使い方を経験して、浪江町全体のノウハウにしていく
- 水素・再エネの正しい理解

### 水素調理の 期待される効果

- 1 匂いにつかないので食材本来の香りを保持できる
- 2 蒸し料理のように内側の水分や脂を保持できる
- 3 従来の調理手法よりも火の通りが早く時短



テレビで異常気象の被害を目にするたびに、未来への危機感や、将来世代への負い目を感じていました。浪江では、住人が一丸となってCO<sub>2</sub>を出さない生活の実現に向かって進んでいるのが自慢です。ニュースで、私たちの町の取組みが報じられるたびに嬉しくなります。

#### 解説

すでに浪江町は再生可能エネルギー、水素、カーボンニュートラル、復興といった観点で国内外から注目を集めています。町民の皆さんと町の取り組みを今後も広く発信して、町の価値向上に努めます。

#### 町民の皆様への お願い



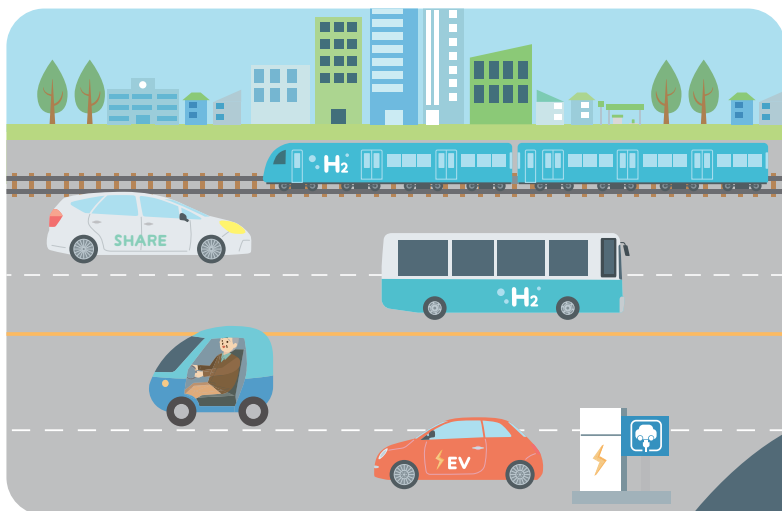
- 各家庭でカーボンニュートラルやRE100へ主体的にチャレンジしていく
- 1人1人が再生可能エネルギー導入や省エネルギーを自ら進める意欲を持つ
- 町が行う様々な情報発信に関する取材や情報提供に協力する
- 家庭でもたまに話題にするなどの意識づけを行う

2030年

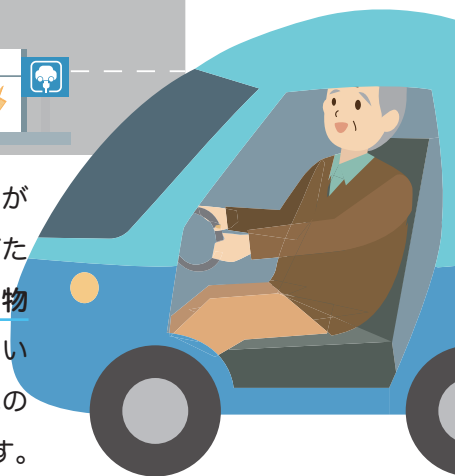
浪江のくらしがこう変わる

10

次世代自動車<sup>1</sup>が普及し、カーシェアや公共交通が発達して、移動が便利になっている。



この町ではマイカーを持たなくても不便なく移動が出来ます。カーシェアやレンタルできる乗り物がたくさんあって、車に積んである電気や水素は、建物や住宅と分け合い、よりエコに生活ができるらしいです。そういえば、道路脇を歩いてもあまり空気の汚れを感じなくなりました。健康にも良さそうです。



#### 解説

次世代自動車の購入・レンタルが容易で、電気自動車への充電や水素自動車への充填が簡単にできるまちにしていきます。家やビルとそのエネルギーを分け合えたり、将来的には電車にも供給できるような社会を考えます。

町民の皆様への  
お願い



- 自家用車の次世代自動車(電気自動車・水素自動車)への買い替え
- カーシェアリングの積極的な利用
- 車と家同士がエネルギーを分け合える設備に関する、自宅への導入

職場でも再生可能エネルギーやグリーン水素が導入されて、より身近な存在になるとともに、CO<sub>2</sub>ゼロが当たり前になっている。



自分の職場で電気やガスをどれくらい使っているかなんて、興味を持ったことも無かったけど、浪江町だとみんな当たり前知ってるんですね。電気は再生可能エネルギー、エアコンやお湯は水素由来のエネルギーを使ってるらしいんです。会社でも出来るなら、自宅でもCO<sub>2</sub>ゼロで過ごせないかチャレンジしてみたいな。

#### 解説

町内のビルや工場は、再生可能エネルギーや水素、エネルギーをスマートに利用できる装置などにより、地域エネルギー会社\*とも連携して、CO<sub>2</sub>を全国に先駆けてゼロにしていきます。

\*P4を参照ください。

#### 町民の皆様への お願い



- 会社での取り組み内容を家族とおしゃべりして共有する
- 他の会社と比べて、自分の勤務先がどれくらいCO<sub>2</sub>削減を進めているか調べてみる
- 会社で実施している事柄の家庭での導入(真似をする)

エネルギーや脱炭素に関する学習の機会がたくさん設けられ、知識や情報を手に入れることで、浪江の未来を語らう素養ができている。



私の住む浪江町では、よその町の学校よりも環境やエネルギーについてたくさん勉強します。おかげで家ではパパやママより私の方が物知りです。今度、パパやママも大人向けの授業に出るらしいので、いっぱいお喋りしたいな。

解説

「なみえ創成小中学校」の児童・生徒を中心に水素やエネルギーに関する教育を推進します。子どもだけでなく、大人向けのセミナーやサロンなども開催し、家庭や職場でも当たり前になり水素や再生可能エネルギーの話題が生まれ、多くの人々が未来の浪江を語らうことのできるまちにしていきます。

町民の皆様への  
お願い



- 子どもたちの学習意欲の喚起
- 各種教育イベントや町民向けセミナー・サロンへの積極的な参加
- 町の発信する情報媒体の積極的な閲覧



明日からできる!

我が家でできる!



# ゼロカーボンアクション!

自宅のできる省エネや環境にやさしい行動です。自分でできそうなもの、すでに取り組んでいるものをチェックしてみましょう。

- エアコンは室内温度夏場28°C、冬場20°Cを目安に設定する
- 照明はLEDライトに取り替える
- 冷蔵庫の温度は適度に設定する
- テレビを見ないときは消す
- シャワーや水道を流したままにせず節水する
- エコドライブを行う(急発進やアイドリングをしない)
- マイバッグやマイボトルを活用しゴミをなるべく減らす
- 家で植物を育てて緑を増やす



# 浪江町の“エネチャレ”を見つけよう

浪江町では町内の企業の皆さんとも連携し、エネルギーをクリーンにしていくための取組みに挑戦しています。全国に先駆けて浪江町で進むエネチャレを見たり、体験したり、調べてみましょう。



- 道の駅なみえ、いこいの村なみえ、ふれあいセンター  
なみえにある純水素燃料電池を見つけてみよう
- いこいの村なみえの「水素の湯」に入ってみよう
- 浪江水素ステーションで水素自動車の試乗をして  
みよう
- 水素で走る移動販売車を利用してみよう
- 国の水素製造実証施設「FH2R」を見に行ってみよう
- 浪江駅周辺整備計画について調べてみよう
- 浪江町地球温暖化対策総合計画～なみえエネルギー  
チャレンジ2035～本編を読んでみよう

自ら勝ち取る  
カーボンニュートラル



## 町民の皆様にご協力いただきたいこと

浪江町では全国に先駆けて、2035年までにカーボンニュートラルを実現し、震災や原子力災害からの復興と新しいまちづくりの答えを全国に示していきます。

そのために、町も本気で取り組んでいきますので、**町民の皆さんにもこのガイドに載っている自らできそうなことを本気で考え、チャレンジしてほしい**と願っています。

皆さんの自発的な行動は町でも積極的に取り上げて、補助金等による費用面での支援はもちろん、モチベーションにつながる仕組みづくりなどの面でも、最大限の支援と伴走をさせていただきます。

ご協力のほど、なにとぞよろしくお願いいたします。

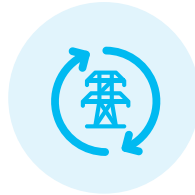




## カーボンニュートラルやRE100への 主体的なチャレンジ



再生可能エネルギー導入や省  
エネルギーを自ら進める意欲



(仮称)地域エネルギー会社からの  
電力供給契約への前向きなご検討



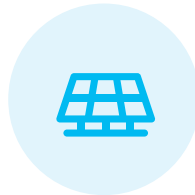
## 浪江町が真のカーボンニュートラルを勝ち取る ための情報提供への協力

皆様の暮らしにおけるエネルギー利用情報の共有



「つかった」情報

家庭でお使いになった電気・  
ガス・灯油・ガソリン等の量  
を教えてください。



「つくった」情報

家庭やご自身が所有する敷地で発  
電した再生可能エネルギー（太陽  
光発電）の量を教えてください。



## 町の色々な取り組みへの参加や理解、ご意見出し



## 水素・再エネの正しい理解



浪江町役場 産業振興課 新エネルギー推進係

TEL:0240-23-5713

FAX:0240-34-2135